

令和2年度 神戸市立須磨海浜水族園の管理運営に対する評価票

1. 施設概要、指定管理者等

(1)施設概要(設置目的、施設内容)	<ul style="list-style-type: none"> ・設置目的: 市民に水族に関する知識を広め、水族への親しみを深めることにより、市民の教養とレクリエーションに資することを目的として、須磨海浜水族園を運営する。 ・敷地面積: 約23,700㎡、延床面積: 約14,500㎡ ・施設概要: 本館、さかなライブ劇場、世界のさかな館、アザラシ・ペンギン館、和楽園展示館、アマゾン館、ラッコ館、イルカライブ館 (令和3年3月1日以降は本館のみ)
(2)指定管理者	株式会社グランビスタ ホテル&リゾート
(3)指定期間	令和2年4月1日～令和5年5月31日
(4)R2市支出額(単位: 円)	協定締結額 — 決算額 126,516,126円

2. 管理運営に対する履行確認内容

<p>(1)飼育展示・特別展及び企画展等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の中、感染防止対策を適切に実施しながら、連携企画をはじめ特別展1回、企画展8回、特別企画4回を実施した。 ・新型コロナウイルス感染拡大防止のための工夫として、イルカスタンドの収容人数の削減、アマゾン館・ラッコ館の地階の閉鎖、観覧エリア面の定時的な消毒作業などを実施した。 ・3密回避のため、本館1Fエントランスホール上部壁面を使用した、映像さかなライブの実施、イルカナイトライブ映像を上映した。 <p>(2)社会教育活動(園内活動33回、延べ304人、園外活動14回、延べ114人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スマスイ生きものスクールを中心とした園内での社会教育活動や、園外活動での観察会の実施、外部委託によるレクチャー等を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言等の影響を受け、上半期は当該活動が実施する事ができなかった。下半期についてはコロナウイルス感染状況を見ながら、徐々に活動を再開した。 ・季刊誌『うみと水ぞく』2021年3月号(第38巻4号/通巻149号)の発行、淡水ガメ雑誌『亀楽』の発刊及び発刊関係者への配布、HPへの掲載を行った。 <p>(3)調査研究活動</p> <p>生物多様性の保全に関しては希少淡水魚の保全を主に、外部組織とも連携を進めている。スマスイ自然環境保全助成金制度により、自然環境保全に係る外部組織2団体への調査研究活動の支援をし、調査研究ネットワークの構築を進めた。</p> <p>(4)広報宣伝活動</p> <p>プレスリリース26件、新聞掲載61件、テレビ・ラジオ69件、雑誌・タブロイド22件</p> <p>(5)魅力維持向上の取り組み</p> <p>施設の魅力維持向上の取り組みとして、本館3階へのペンギン飼育展示他建築工事、アーカイブブース設置などを実施した。</p> <p>(6)入園者数</p> <p>令和2年度の累計入場者数は506,729人となった。</p> <p>(7)新型コロナウイルス感染症対策による休園期間(令和2年度)</p> <p>令和2年4月1日～令和2年5月27日</p>

3. 利用者の満足度調査等

	2年度の状況
①満足度調査の実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・来園者アンケート 水族園本体事業及び付帯事業に対する満足度について5段階評価を実施。 ・対象期間: 令和2年4月～令和3年3月まで。4半期ごとに実施した。 ・回答数364件 (第1四半期: 新型コロナの為中止、第2四半期 100件、第3四半期 103件、第4四半期 161件)
②満足度調査の結果	<p>《第2四半期》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体満足度 4.70 ・接客対応 4.62 ・本館満足度 4.48 ・来園おすすめ度 4.51 <p>《第3四半期》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体満足度 4.87 ・接客対応 4.80 ・本館満足度 4.77 ・来園おすすめ度 4.72 <p>《第4四半期》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体満足度 4.43 ・接客対応 4.11 ・本館満足度 4.47 ・来園おすすめ度 4.32

<p>③利用者からの主な苦情, 意見とそれへの対応</p>	<p>入園者から受けた苦情・意見等については、必要に応じて検討の上、早期に改善を行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「トイレが汚かった」という苦情に対し、新型コロナウイルス対策も兼ねて、新規でサニタイザーを設置した。 ・「もう少し涼しい所を増やしてほしい。」という意見に対し、「ドルフィンショップ」横区画、本館3階「水辺のふれあい遊園」出入り口周辺へミストシャワーを設置した。 ・「水槽の高さがもう少し低いと子供が見やすく良いと思いました。」という意見に対し、本館3階ペンギンプール前にステップを設置した。
-------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

4. 選定評価委員会の評価

この状況でよく頑張っている。利用者からの苦情を汲み取り、よく工夫している。解体をしながら、これまでのイメージを壊さず、かつ次への期待を持たせるように運営していく、といった難しいことをやっており、その点を評価したい。

令和2年度 神戸市立農村環境改善センターの管理運営に対する評価票

1. 施設概要、指定管理者等

(1)施設概要(設置目的、施設内容)	地域の生活基盤の充実を目的として、「農村総合整備モデル事業」により昭和60年度に建設された施設であり、利用者の大部分は周辺地域の住民。施設内容は、多目的ホール・研修室2室・農産加工室・図書室など。
(2)指定管理者	神戸市立農村環境改善センター管理運営協議会
(3)指定期間	令和2年4月1日～令和7年3月31日
(4)R2市支出額(単位:円)	協定締結額 8,390,000円 決算額 7,952,740円

2. 管理運営に対する履行確認内容

(1) 施設管理業務 建物維持管理(入口・会議室等の開錠・施錠、用具・機器等点検、小修繕、法定点検の立会いなど) 環境維持管理(館内・敷地内の清掃業務と植栽の管理など)																																																																						
(2) 運営業務 貸館業務(利用予約受付・許可、使用料の徴収・管理、使用料の納付など)																																																																						
(3) その他 地域行事の調整・協力、スポーツ大会の調整・運営など																																																																						
<p><令和2年度の主な取り組み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症対策による臨時閉館や開館時間の短縮の影響で、上半期については利用者数が前年度と比較して59%減少(13,406人から5,411人に減)したが、感染予防対策を行ったうえで、定期利用団体や地域団体への利用促進に努めた結果、下半期については前年度と比較して18%減少(12,094人から9,861人に減)に留まった。 ・施設の清掃を定期的実施するとともに、小修繕や樹木の剪定を適切に行い、施設全体が良好な状態に維持された。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>(参考)</th> <th>平成30年度</th> <th>前年度比</th> <th>令和元年度</th> <th>前年度比</th> <th>令和2年度</th> <th>前年度比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>指定管理料</td> <td>8,751,200円</td> <td>(10%増)</td> <td>7,952,200円</td> <td>(10%減)</td> <td>8,390,000円</td> <td>(5.5%増)</td> </tr> <tr> <td>使用料収入</td> <td>2,937,680円</td> <td>(1.5%増)</td> <td>2,560,860円</td> <td>(12.9%減)</td> <td>2,086,750円</td> <td>(18.5%減)</td> </tr> <tr> <td>利用者数</td> <td>26,862人</td> <td>(2.4%減)</td> <td>25,500人</td> <td>(5.1%減)</td> <td>15,272人</td> <td>(40.1%減)</td> </tr> <tr> <td colspan="7">内 訳</td> </tr> <tr> <td>多目的ホール</td> <td>20,381人</td> <td></td> <td>19,057人</td> <td></td> <td>14,493人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>研修室(洋)</td> <td>2,460人</td> <td></td> <td>3,209人</td> <td></td> <td>339人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>研修室(和)</td> <td>2,115人</td> <td></td> <td>1,585人</td> <td></td> <td>355人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>農産加工室</td> <td>211人</td> <td></td> <td>156人</td> <td></td> <td>33人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>グラウンドなど</td> <td>1,695人</td> <td></td> <td>493人</td> <td></td> <td>52人</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	(参考)	平成30年度	前年度比	令和元年度	前年度比	令和2年度	前年度比	指定管理料	8,751,200円	(10%増)	7,952,200円	(10%減)	8,390,000円	(5.5%増)	使用料収入	2,937,680円	(1.5%増)	2,560,860円	(12.9%減)	2,086,750円	(18.5%減)	利用者数	26,862人	(2.4%減)	25,500人	(5.1%減)	15,272人	(40.1%減)	内 訳							多目的ホール	20,381人		19,057人		14,493人		研修室(洋)	2,460人		3,209人		339人		研修室(和)	2,115人		1,585人		355人		農産加工室	211人		156人		33人		グラウンドなど	1,695人		493人		52人	
(参考)	平成30年度	前年度比	令和元年度	前年度比	令和2年度	前年度比																																																																
指定管理料	8,751,200円	(10%増)	7,952,200円	(10%減)	8,390,000円	(5.5%増)																																																																
使用料収入	2,937,680円	(1.5%増)	2,560,860円	(12.9%減)	2,086,750円	(18.5%減)																																																																
利用者数	26,862人	(2.4%減)	25,500人	(5.1%減)	15,272人	(40.1%減)																																																																
内 訳																																																																						
多目的ホール	20,381人		19,057人		14,493人																																																																	
研修室(洋)	2,460人		3,209人		339人																																																																	
研修室(和)	2,115人		1,585人		355人																																																																	
農産加工室	211人		156人		33人																																																																	
グラウンドなど	1,695人		493人		52人																																																																	

3. 利用者の満足度調査等

	2年度の状況
①満足度調査の実施内容	調査方法：入口のカウンターにアンケート用紙を置くだけでなく、直接配布し利用者に記入してもらった。 調査期間：令和2年4月1日～令和3年3月31日 回答件数：82件
②満足度調査の結果	施設利用の感想について、「満足及びやや満足」が78%(以下普通18%、やや不満4%、不満0%)、職員の対応について、「満足及びやや満足」が87%(以下、普通13%、やや不満0%、不満0%)となった。 利用理由では「無料駐車場がある」(27%)「自宅から近い」(26%)との声が多く寄せられた。
③利用者からの主な苦情、意見とそれへの対応	苦情(要望)は、施設の設備改善についての要望が殆どであり、シャワー室や多目的ホールの空調(冷房)の設置に関する意見が多かった。シャワー室及び多目的ホールの空調(冷房)については、令和3年度に工事予定である。

4. 選定評価委員会の評価

利用者数がかなり落ち込んでいる。コロナの影響もあると思うが、特定の方の利用に偏っているのではないかと。積極的な営業活動等、周辺の方にPRする取り組みが必要。公共施設として、地域のためだけの施設にならないようにしてほしい。

令和2年度 神戸市立自然環境活用センターの管理運営に対する評価票

1. 施設概要、指定管理者等

(1)施設概要(設置目的、施設内容)	学童等に農業や伝習文化の体験の場を提供するとともに、地域農業の振興を図るため、昭和59年に開設した。 施設: 木造平屋建て2棟(延床面積166㎡)。土間教室、板の間教室、集会室。
(2)指定管理者	高和自然環境活用センター管理会
(3)指定期間	令和2年4月1日～令和7年3月31日
(4)R2市支出額(単位:円)	協定締結額: 622,000円 決算額: 622,000円

2. 管理運営に対する履行確認内容

<p>・施設管理業務 建物維持管理(開錠・施錠、用具・機器等点検、小修繕等) 環境維持管理(館内・敷地内の清掃業務と植栽の管理など)</p> <p>・運営業務 工芸等の体験(竹細工、藁細工、もちつき等) 農業体験(いもほり等) 貸館業務(利用予約受付、許可、緊急対応等)</p> <p>・その他 地域行事の調整、協力等</p> <p><令和2年度の主な取り組み> ・利用者は対前年比 54%の1,627人であった。 ・4月1日～5月22日の間、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための緊急事態宣言を受け休館。また、まん延防止等重点措置などを受け、バーベキューを含む飲食を伴う利用を制限したことから、利用者が減少したと考えられる。 ・利用再開後は、感染防止対策に努めながら、里づくり協議会と連携したサツマイモの収穫体験などを継続して実施している。 ・貸館による利用が多数である。 ・行動指針に沿って、体験教室以外の利用の際にも活動補助(火おこしの手伝い、竹材の加工など)を行った。また、里づくり協議会と連携し、感染防止対策を講じたうえで拠点施設として農業体験ウォーキングを行った。</p> <p>【利用状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>工芸等体験(もちつき等)</th> <th>農業体験(いもほり等)</th> <th>交流活動等(貸館)</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>28年度</td> <td>8回 301人</td> <td>3回 290人</td> <td>119回 2,140人</td> <td>130回 2,731人</td> </tr> <tr> <td>29年度</td> <td>7回 197人</td> <td>1回 14人</td> <td>131回 2,585人</td> <td>139回 2,796人</td> </tr> <tr> <td>30年度</td> <td>13回 332人</td> <td>3回 345人</td> <td>118回 2,429人</td> <td>134回 3,106人</td> </tr> <tr> <td>元年度</td> <td>9回 289人</td> <td>4回 283人</td> <td>125回 2,442人</td> <td>138回 3,014人</td> </tr> <tr> <td>2年度</td> <td>2回 29人</td> <td>2回 282人</td> <td>95回 1,316人</td> <td>99回 1,627人</td> </tr> </tbody> </table>		年度	工芸等体験(もちつき等)	農業体験(いもほり等)	交流活動等(貸館)	計	28年度	8回 301人	3回 290人	119回 2,140人	130回 2,731人	29年度	7回 197人	1回 14人	131回 2,585人	139回 2,796人	30年度	13回 332人	3回 345人	118回 2,429人	134回 3,106人	元年度	9回 289人	4回 283人	125回 2,442人	138回 3,014人	2年度	2回 29人	2回 282人	95回 1,316人	99回 1,627人
年度	工芸等体験(もちつき等)	農業体験(いもほり等)	交流活動等(貸館)	計																											
28年度	8回 301人	3回 290人	119回 2,140人	130回 2,731人																											
29年度	7回 197人	1回 14人	131回 2,585人	139回 2,796人																											
30年度	13回 332人	3回 345人	118回 2,429人	134回 3,106人																											
元年度	9回 289人	4回 283人	125回 2,442人	138回 3,014人																											
2年度	2回 29人	2回 282人	95回 1,316人	99回 1,627人																											

3. 利用者の満足度調査等

	2年度の状況
①満足度調査の実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 調査方法: 利用者にアンケート用紙を配布 調査期間: 令和2年6月1日～令和3年3月31日 回収枚数: 95枚 質問項目: 利用回数、認知媒体、利用内容、利用満足度(評価)、利用負担に対する評価、施設に対する要望、利用者の属性など
②満足度調査の結果	<ul style="list-style-type: none"> 利用回数: 初めて 2%、2回目以上: 95%(うち定期的利用: 72%)、無回答: 3% 利用満足度: 満足 91%、やや満足 3%、普通 3%、やや不満 0%、不満 0%、無回答 3% 利用負担(実費程度): 高い 2%、適切 84%、安い 3%、無回答11%
③利用者からの主な苦情、意見とそれへの対応	<ul style="list-style-type: none"> 利用者からは、感謝の言葉や施設の存続を望む声を数多く頂いている。 以前からあったトイレの洋式化については、R2年度に対応した。

4. 選定評価委員会の評価

工芸体験について利用者の落ち込みが激しい。体験内容が固定化しているので、新しい取り組みをやったほうがいい。地域の独占的な施設にならないよう、いろんな催しをやっているというPRIに努めてほしい。

令和2年度 神戸市立水産会館の管理運営に対する評価票

1. 施設概要、指定管理者等

(1)施設概要(設置目的、施設内容)	【設置目的】 本市における漁業の振興を図るとともに、漁業者等の教養及び文化の向上並びに福祉の増進を図る。 【施設内容】 集会ホール330㎡、大会議室140㎡、小会議室33㎡、和室33㎡、料理教室41㎡(昭和56年度 開設)
(2)指定管理者	神戸市漁業協同組合
(3)指定期間	平成30年4月1日から令和5年3月31日
(4)R2市支出額(単位:円)	協定締結額 6,600,000円(税込) 決算額 6,490,153円(税込)

2. 管理運営に対する履行確認内容

①施設管理業務 維持管理(開館・閉館・清掃)、備品・付属設備の管理(冷暖房設備、自家発電機、電気、水道、ガス設備その他室内備品)、 保守点検(電気設備、冷暖房設備、消防設備、自家発電機)、光熱水費の支払い、小修繕 ②管理運営業務 条例に基づく使用料の徴収、使用予約受付・許可業務、使用料の減免、使用料の市への納付等 ③その他 地域行事開催時における調整・協力 [令和2年度の主な取り組み(継続)] ・ 会館利用者の利便性向上のため、情報掲示板の設置や利用案内チラシを作成 ・ 会館の利用促進を図るため、指定管理者の本部及び支所に利用案内チラシを常時配備 ・ 漁業者等の利用状況:31%(前年度15%) [利用状況] <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>集会ホール</th> <th>大会議室</th> <th>小会議室</th> <th>和室</th> <th>料理教室</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2年度</td> <td>918(21)</td> <td>267(19)</td> <td>151(9)</td> <td>0(0)</td> <td>0(0)</td> <td>1,336(49)</td> </tr> <tr> <td>元年度</td> <td>3,928(65)</td> <td>1,930(102)</td> <td>1,431(86)</td> <td>483(31)</td> <td>503(11)</td> <td>8,302(295)</td> </tr> <tr> <td>30年度</td> <td>5,203(87)</td> <td>2,458(111)</td> <td>1,975(109)</td> <td>677(45)</td> <td>924(23)</td> <td>11,437(375)</td> </tr> </tbody> </table> [使用料収入] 2年度 524千円 元年度 1,120千円 30年度 1,579千円 ④新型コロナウイルス感染症対策による休館期間 令和2年3月3日から令和2年5月24日 ⑤行動指針に対する対応 漁業関係研修の実施誘致、漁業関係者の交流の場として積極的な会議室利用を勧めた。		集会ホール	大会議室	小会議室	和室	料理教室	合計	2年度	918(21)	267(19)	151(9)	0(0)	0(0)	1,336(49)	元年度	3,928(65)	1,930(102)	1,431(86)	483(31)	503(11)	8,302(295)	30年度	5,203(87)	2,458(111)	1,975(109)	677(45)	924(23)	11,437(375)
	集会ホール	大会議室	小会議室	和室	料理教室	合計																						
2年度	918(21)	267(19)	151(9)	0(0)	0(0)	1,336(49)																						
元年度	3,928(65)	1,930(102)	1,431(86)	483(31)	503(11)	8,302(295)																						
30年度	5,203(87)	2,458(111)	1,975(109)	677(45)	924(23)	11,437(375)																						

3. 利用者の満足度調査等

	2年度の状況																					
①満足度調査の実施内容	会館利用時の満足度等について、アンケート調査を行った。 (回収 34団体、有効回答 23団体)																					
②満足度調査の結果	利用回数(新規・継続) 回答者数 23団体 新規 21.7% 継続 78.3% ・ハード面は、「満足」又は「やや満足」を合わせて100%で、ソフト面は、「満足」又は「やや満足」を合わせて95.7%であった。また、ハード面・ソフト面で「不満」又は「やや不満」という回答は0%であった。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>回答者数</th> <th>満足</th> <th>やや満足</th> <th>普通</th> <th>やや不満</th> <th>不満</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ハード面</td> <td>23団体</td> <td>87.0%</td> <td>13.0%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>ソフト面</td> <td>23団体</td> <td>91.3%</td> <td>4.3%</td> <td>4.3%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> </tr> </tbody> </table>		回答者数	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	ハード面	23団体	87.0%	13.0%	0%	0%	0%	ソフト面	23団体	91.3%	4.3%	4.3%	0%	0%
	回答者数	満足	やや満足	普通	やや不満	不満																
ハード面	23団体	87.0%	13.0%	0%	0%	0%																
ソフト面	23団体	91.3%	4.3%	4.3%	0%	0%																

4. 選定評価委員会の評価

料理教室と和室の使用がゼロになっている。高齢者向けの内容に偏っており、コロナ禍の影響が大きい。幅広い年齢層が利用できる取り組みが必要。漁業関係者以外の利用ができることを周知する必要がある。満足度調査については従業員の対応への満足度についても聴取していただきたい。

令和2年度 神戸市立海づり公園の管理運営に対する評価票

1. 施設概要、指定管理者等

(1)施設概要(設置目的、施設内容)	<p>【設置目的】 市民に安全で快適な海釣りの場及び海上の憩いの場を提供することにより、市民の余暇の活用と健康の増進を図る。</p> <p>【施設内容】 須磨海づり公園(昭和51年4月開園)・・・釣り台(550人収容)、売店等 平磯海づり公園(昭和59年9月開園)・・・釣り台(700人収容)、売店等</p>
(2)指定管理者	(一財)神戸みのりの公社
(3)指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日
(4)R2市支出額(単位:円)	(利用料金制のため、市支出なし) 台風被害による休園中の管理運営委託料として、21,000,000円支出(須磨) 消費税及び地方消費税の増税に伴う取扱いにより1,529,000円支出(平磯)

2. 管理運営に対する履行確認内容

<p><平磯海づり公園></p> <p>(1)施設の維持管理業務 施設の保全・清掃業務、施設の修繕業務、施設の保安警備業務</p> <p>【2年度の主な取り組み】 利用者の安全確保として、ライフジャケットなどの救命具の設置、市民救命士資格取得者の配置、AED・救急箱・インセクトポイズンリムーバー等を設置した。 施設保全、利便性向上のため、階段手摺補修工事、売店シャッター取り替え、トイレ壁照明取り替え等の維持管理業務を実施した。</p> <p>(2)施設の運営業務 公園の利用料金の徴収・減額・免除・返還に関する業務、公園の利用及び制限に関する業務、釣りの指導、水産資源の保護育成等に関する業務、安全対策</p> <p>【2年度の主な取り組み】 ①釣り指導員の配置 職員が釣台や売店で、特に初心者を中心に指導に努めた。 兵庫県釣団体協議会の会員による釣り指導(繁忙期の土日祝日 平磯 24日)</p> <p>②稚魚の放流、漁礁の管理及び改定整備等、アオリイカ産卵床の設置など</p> <p>③避難訓練実施、市民救命士の資格取得者の配置、AEDの設置 平磯:避難訓練の実施(令和3年2月12日) 園内での転倒や転落については、園内放送や看板等で、毒魚に刺されることへの予防措置については写真入り看板やオリジナル下敷きの配布、投げ釣り注意放送、熱中症予防放送等、注意喚起を行った。 幼児・児童のライフジャケットの着用の励行、</p> <p>(3)その他 利便施設(売店、自販機、バーベキュー場)の運営、魚食普及のための活魚販売、海釣り人口拡大のためのイベントの実施、地域との連携</p> <p>【2年度の主な取り組み】※行動指針に対する対応も含む ①夏休み親子海釣り大会、様々なイベントを開催(26件、1,065人) ②コロナウイルス感染に配慮しながら、子供向けの各種大会を開催。 ③インスタグラムの開設</p> <p>[利用状況] 入園者: 80,647人(前年比93.8%) 駐車台数: 34,520台(前年比101.5%) [利用料金収入] 82,569千円(前年比99.0%)</p> <p>(4)新型コロナウイルス感染症対策による休園期間 令和2年4月11日から5月22日まで</p> <p><須磨海づり公園> 平成30年8月24日より台風被害で休園中のため、施設の保安警備など最低限の施設管理を実施している。</p>

3. 利用者の満足度調査等

	2年度の状況												
①満足度調査の実施内容	対象:海づり公園利用者 調査日及び方法、回答件数 令和2年度4～3月:海づり公園ホームページ(平磯428人)												
②満足度調査の結果	<ul style="list-style-type: none"> 全体満足度 <table border="1"> <thead> <tr> <th>回答者数</th> <th>満足</th> <th>やや満足</th> <th>ふつう</th> <th>やや不満</th> <th>不満</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平磯 428人</td> <td>52.2%</td> <td>10.5%</td> <td>18.2%</td> <td>10.2%</td> <td>8.9%</td> </tr> </tbody> </table>	回答者数	満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満	平磯 428人	52.2%	10.5%	18.2%	10.2%	8.9%
回答者数	満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満								
平磯 428人	52.2%	10.5%	18.2%	10.2%	8.9%								
③利用者からの主な苦情、意見とそれへの対応	<ul style="list-style-type: none"> 喫煙している人がいる。 →令和2年4月1日より釣台を全面禁煙とし、決められた喫煙所のみで喫煙が可能としている。釣台での喫煙については、職員の巡回による注意喚起を行っている。 釣れない。 →職員全体で釣り指導に努めるほか、外部講師を招いての釣り指導も行っている。 												

4. 選定評価委員会の評価

コロナ禍でも利用者が維持できており、頑張っている。従業員も頑張っていると思うので、満足度調査の項目を分けて、従業員への評価がわかるようにしてほしい。